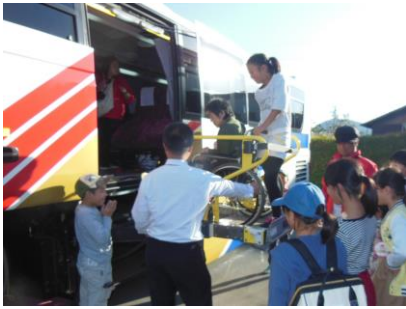


第1期

西予市地域福祉活動計画

(令和2年度～令和6年度)



社会福祉法人
西予市社会福祉協議会

はじめに

平成 16 年の合併以来 16 年が経過し、この間、本市も全国的な傾向と同様、少子高齢化、世帯の核家族化・単身化はますます進行し、地域における助け合い・支え合いの重要性が増しており、特に中山間地域や海岸部は人口減少と高齢化が著しく、地域コミュニティの衰退による支え合い機能の低下が課題となっています。

また、平成 30 年 7 月豪雨により、西予市はこれまでに経験したことのない大きな被害を受け、家屋の浸水や長期にわたる避難生活で不自由な生活を強いられる中、住民の皆様は、互いに支え合い、助け合い、励まし合いながら過ごされました。そこには確かな「つながり」が存在しており、日頃からの地域の「つながり」が、災害時にいかに大切であるかを改めて認識することとなりました。

国は、誰もが住み慣れた地域で安心して自立した生活を送るため、住まい・医療・介護・予防・生活支援などを包括的に支援する仕組みである「地域包括ケアシステム」の構築を推進しています。この「地域包括ケアシステム」は、関係する機関・団体、地域住民がともに一体となり様々な生活課題に取り組むことが求められており、社会福祉協議会には地域福祉活動の推進役・パイプ役として重要な役割が期待されています。

こうした中、本会におきましては、住み慣れたまちで安心して暮し続けることができるまちづくり、すなわち、「我が事・丸ごと」の地域共生社会の実現に向けて、地域福祉をさらに推進し、新たな課題への対応を図っていくため、本会と地域住民が一体となって、主体的に個人や地域における福祉ニーズの早期発見、課題解決に取り組む方向性を示すものとして「西予市地域福祉活動計画」を策定しました。

本計画の策定にあたっては地域の住民の皆様に参加いただき、地域課題を明確化し、解決策などを話し合い様々な意見を反映させるため、「西予市地域福祉アンケート調査」や旧町単位で「地域の将来像を考える住民座談会」を実施し、これらの結果をもとに「西予市地域福祉活動計画策定委員会」において協議を行いました。

なお、本計画は、行政計画である「西予市地域福祉計画」と車の両輪のようにお互いがなくてはならない計画として密に連携の取れたものとなるよう、基本理念や 4 つの基本目標を共有しており、本市における地域福祉を総合的かつ一体的に推進することとしております。

最後になりましたが、本計画の策定に当たり貴重なご意見やご提言をいただきました策定委員の皆様、有識者のアドバイザーとしてご協力をいただきました聖カタリナ大学教授をはじめ、アンケート調査や住民座談会にご参加・ご協力いただきました多くの住民の皆様には厚くお礼を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



社会福祉法人 西予市社会福祉協議会
会長 河野敏雅